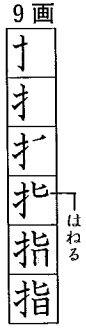
指

【3年】 9画

おん シ　くん ゆび・さす



なりたち うまいという意味の旨と手との会意形声字。うまい物を見ればついゝゆびゝでつまみたくなる。うまい物をつまむゝゆびゝを表したもの。また、ゝゆびさす・さし示すゝ意味に用いられる。

いみとじゅくご

▼ゆび。

食指…ひとさし指のこと。用例食指を動かす。(食べたい、欲しいという気持ちを起こすこと。)

屈指…多くの中でも、指を折って(一番、二番と)数えられるほど優秀なものの意味。指折り。

▼ゆびさす。さし示す。

指示…❶指し示すこと。❷命令。用例指示に従う。

指定…指し示して定めること。例指定席

指導…指し示し、導くこと。教え導くこと。例指導者

指摘…取り上げて、指し示すこと。用例問題点を指摘する。

よみかた 指図・指圧・指揮・指針・指数・指標・指名・指紋・指令・指先・指輪

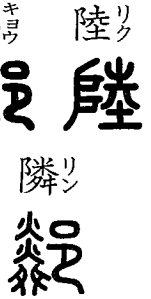
漢字学習コーナー

同じゝ阝ゝでも

同じ形の〝阝〟でも、それが〝偏〟であるか、〝旁(りつ)〟であるかによって、意味が大変違います。

〝偏〟の場合は〝こざとへん〟と言って、古い形は崖(けが)の形を表していて〝崖〟の意味を表しますが、〝旁〟の場合は、〝おおざと〟と言って〝都市〟や〝町〟や〝村〟の意味を表します。

郷　陸



隣

ただし例外があって〝隣〟は〝おおざと〟です。昔の字形は〝鄰〟です。

形はよく似ていても

〝欠(あくび)〟と〝攵(ぼくにょう)〟は形が似ているので、書き違えることがよくあります。しかし、意味が違うので、その字の意味を考えれば、書き違えることは無くなります。

〝欠〟は、人が大きな口を開けた形を表しているので、〝あくび〟という名があります。〝飲〟や〝歌〟などの旁(りつ)がこれです。

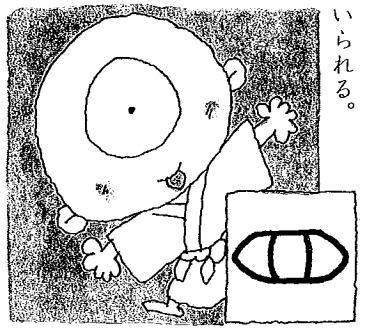
〝攵〟は、人が手に棒やむちなどの道具を持った形を表した字で、〝教・敬・救・牧・散・敗〟などに用いられています。

欠　攵

目

【1年】 5画

おん モク・ボク　くん め・ま



なりたち 目の形をかたどった字で象形字。転じて、ゝ網の目・碁盤の目・すじ目・木目ゝなどの使い方がある。また、「目が利く」というように、ゝ物を見とおす力ゝの意味にも用いられる。

いみとじゅくご

▼め。目で見る。

耳目…耳と目。聞くことと見ること。用例耳目を集める。(人々の注意を集めること。)

注目…目を注ぐ(注意して見る)こと。用例注目の的となる。

▼めの形に似たもの。

木目…木を切った時に見える模様。

▼めあて。

目的…目当て。目ざすところ。例目的地

▼大事な所。(目は一番大事な所だから。)

眼目…物事の一番大事な所。

▼一つ一つに分けたもの。

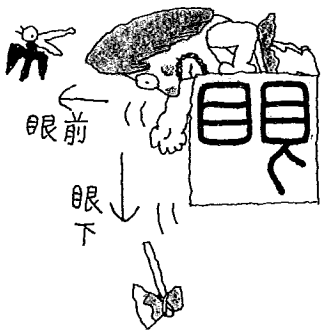
項目…物事をある基準で分けたもの。

よみかた 目深・目上・目顔・目方・目覚まし・目分量・目撃・目算・目次・目標・面目

眼

【5年】 11画

おん ガン・ゲン　くん まなこ



なりたち 古い字形が見と対称形の艮である艮と目との会意形声字。ゝ見るという働きをもった目ゝという意味の字。また、物を認識する働きを根というので、ゝ根としての目ゝと見ることもできる。

いみとじゅくご

▼め。

眼下…目の下の方。用例眼下を見おろす。

眼前…目の前。用例眼前に広がる風景。

近眼…遠くの物がはっきり見えない目。

複眼…いくつもの目が集まって、一つの目のようになっている、昆虫などの目。

▼ものを見わける力。

眼識…ものの善し悪(あ)しなどを見わける力。眼力。

具眼…眼識を備えていること。用例具眼の士。(眼識のある人。)

▼大事な所。

主眼…物事の一番大事な所。眼目。

よみかた 開眼・血眼・着眼

さんこう 特別なよみかた→眼鏡